

大豊町の概要

位置	東経133度40分 北緯33度45分 (位置は地籍調査班の調査による)
面積	320.54平方軒 東西 32軒 南北 28軒 部落数 86
人口	8,820 男 4,163 女 4,657
世帯数	3,277 (9月末日現在住民基本台帳調)



昭和61年10月10日発行

全世界配布

編集	大豊町中央公民館
発行	大豊町中央公民館
印刷	高知印刷株式会社

五代目町長就任 渡辺氏無投票当選 (二期目)



五代目町長に就任した渡辺盛男氏

任期満了に伴う大豊町長選挙は渡辺盛男氏(六選)保守系無所属川井以外に立候補者がなく八月二十四日の投票日を待たず無投票再選が決定した。町選挙管理委員会では八月二十四日選挙管理委員会を開いて渡辺盛男氏の当選を決定、平尾俊一郎選挙管理委員長より当選証書が附与された。渡辺氏は九月一日大勢の職員に迎えられ職員合同朝礼で女子職員から花束の贈呈を受けたのち、西岡仁司助役より歓迎の挨拶を受け第二期目に望む所信を述べ職員からの拍手を受け五代目大豊町長の椅子に就いた。

就任のご挨拶

大豊町長 渡辺 盛男

秋涼の候、皆様にはますますお喜び申し上げます。さて去る八月二十四日執行の任期満了に伴う大豊町長の選挙に当たりましては不肖の身にも拘りませず無投票当選という稀有の栄誉をあたえていただきました。町民各位の私に寄せられます信義の大きさに、今更のように深い喜びと感謝を覚えると共に、その課せられました責務の重大さを一入痛感する次第であります。私は就任以来町是とも謂うべき和真協働力融合一体即ち、和を基調とする創業、高速度の時代、高齢化

二十一世紀に向けて 明るく活気に溢れる 町づくり(創業の精神)

社会の到来、高度技術及至は高度情報化の時代に向けて急速なる変貌をみつつあることが身をもって体験させられつつあります。こうした時代に対応するために私共は大豊町発足以来一貫して築いて参りました実績の上に更に改革を進め次の世代の人達によりよい活力に満ちた郷土を引継ぐ大きな責務のあることを認識するものであります。今更いっそう、困を挙げた財政再建行政改革の中で発展途上の条件から尚脱却し得ない本町に取りましては今後進歩の厳しさを十分承知するものではあります。農林業の進展、観光産業の確立、このための基盤整備の充実、教育文化、福祉の向上発展に邁進し、もって九千町民の自託と期待にこたえて参りたい所存であります。

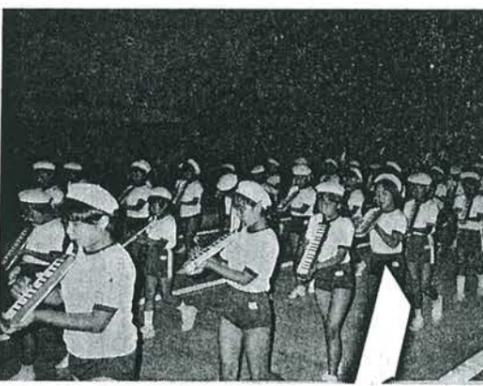
この新高須トンネルは、高須と川口南を結ぶ高須トンネル(全長三百四十七メートル、幅員五・五メートル)が交通量の増加とともに老朽化し、本山側出口で大きくカーブしているため見通しも悪く以前から一穴随トンネルと悪評が高か



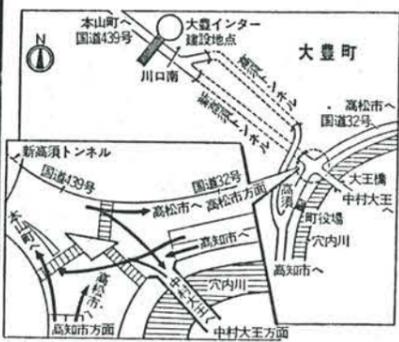
職員を代表して女子職員から花束の贈呈を受ける渡辺町長

町民の皆様に御挨拶申し上げます。このトンネルの完成は、北地域の住民が鶴首していたものであり、高速度時代へ向け大きな前進であると共に二十一世紀へ向けての大豊のまちづくり、嶺北づくりに対し、強力な拍車がかげられた。

この日午前十一時から農工センターで行われた開通式典で、中内県知事は、新高須トンネルの完成は本四



大杉小学校の鼓笛隊を先頭に通初め



関係者によるテープカット

新高須トンネル開通 四国横断自動車道と結ぶ 二十一世紀へつなぐ一里塚

開通式は、五十七年度から付替工事に着手し三年半ぶりに総工事費十六億円を投入して完成したものである。

開通式には主催者の県をはじめ日本道路公団、嶺北五ヶ町村の関係者等、多彩な顔ぶれのなか、午前十時から高須側で神事が行われ、くす玉が割られ関係者によるテープカットに続き、大杉小学校の鼓笛隊を先頭に出発し、正午からは一般に供用が開始された。

このトンネルの完成は、北地域の住民が鶴首していたものであり、高速度時代へ向け大きな前進であると共に二十一世紀へ向けての大豊のまちづくり、嶺北づくりに対し、強力な拍車がかげられた。

この日午前十一時から農工センターで行われた開通式典で、中内県知事は、新高須トンネルの完成は本四

関係者によるテープカット

開通式は、五十七年度から付替工事に着手し三年半ぶりに総工事費十六億円を投入して完成したものである。

開通式には主催者の県をはじめ日本道路公団、嶺北五ヶ町村の関係者等、多彩な顔ぶれのなか、午前十時から高須側で神事が行われ、くす玉が割られ関係者によるテープカットに続き、大杉小学校の鼓笛隊を先頭に出発し、正午からは一般に供用が開始された。

このトンネルの完成は、北地域の住民が鶴首していたものであり、高速度時代へ向け大きな前進であると共に二十一世紀へ向けての大豊のまちづくり、嶺北づくりに対し、強力な拍車がかげられた。

この日午前十一時から農工センターで行われた開通式典で、中内県知事は、新高須トンネルの完成は本四

新教育長に

永森 信良氏就任



去る九月三十日をもって任期満了に伴う重森元前教育長の後任として、九月二十五日開催された定例会議で永森信良氏(西條)が教育委員選任同意議案が可決された。

永森氏は、元前教育長に互選し、県教育委員会に申請、県教育委員会は十月一日付をもって大豊町教育長の任命を承認した。

これを受けて二十六日に開かれた町教育委員会(上村孝行会長)では永森氏を教育長に互選し、県教育委員会は十月一日付をもって大豊町教育長の任命を承認した。

過疎からの脱却 最後のチャンス

町の過疎地域振興対策

大豊町企画振興室長 鎌倉 宏

昭和四十五年に国が過疎地域対策緊急措置法(いわゆる「過疎法」といわれていた法律)が十年の時限立法として制定されて以来、大豊町におきましても「大豊町過疎地域振興計画」を策定し、全町挙げてこの計画の推進に取り組ん

経済振興の効果と 立ち遅れの理由

しかしながら、後期の五ヶ年に目指しておりましたのは生活環境や福祉施設、医療施設等の整備に併せて農林業の振興施策に重点が置かれて進められてきました。たけど、実体としては道路建設や学校施設の整備が主力を占めておりまして、本来の過疎地域における経

農林業振興の出遅れ

人口の流出に歯止めをかける「地域産業の振興」を第一と

りまして、一部には即効性のある工業導入もその施策に取り入れて「一村一工場」のスタートで地域振興を図ることもやってきましたが、これにて中年女子労働力を中心に展開されて来ましたが、農家における農地の荒廃の一つの原因にもなっていました。道

過疎地域振興対策の成果

地域産業の振興、殊にその基礎である農林業の振興は過疎地域振興の根幹であること認識されて来たにも拘らず、現実の対策として後述に記されるを得ない原因がそこにあつたと思われ

地場産業の振興

過疎化と高齢化の悪循環を断ち切り、過疎地を希望の活力ある地域社会に再構築し、ゆめのために、新しい雇用の場の確保と若者の定住を図ることが第一の課題とされてお

「むらおこし事業」の盛り上がり

現在では、全国的に「むらおこし事業」などの名称で、新製品の開発や優れた特産品の発掘などさまざまな角度から振興策に取り組みが盛ん

「地場産業」の定義

地域産業の振興や地域活性化の担い手ともいふべき「地場産業」とは、私達にとつてどのように認識をすればよいのでしょうか。国

地場産業おこしの成功事例

先述地で振興されている「地場産業」の成功事例を分析しますと、次のように分類されるものといわれて

地域特性の考え方

本来、本町が非常に優れた地域特性を持っていたのであれども、過疎地といわれている過疎地にならざるに済んでいたと思われ

地域特性の活用

都会から見れば、プラスの特性と思えるものであつても過疎地住民にとってマイナステータスである。この特性を活用して地域を振興し、私たちが定住を続けてゆくためには、

私達が取り組むこと

国や県、町の補助事業の導入の仕方につきまして、地域の自主開発や地域住民の自立の目標として、地域全体の合意で決断し、協力を確保し、その後はそれに沿って補助事業を住民自身が選択し、合理的かつ効果的に行

大豊ライオンズクラブ 雨中国道32号線一斉清掃

去る六月二十一日(土) 大豊町ライオンズクラブ 国道32号線沿いの一斉清掃



小雨の中で一斉清掃するライオンズクラブ会員 (中央高橋会長)

を行った。同クラブは昭和五十七年六月に大豊町ライオンズクラブとして認定されて以来、世界のライオンズクラブの一員として、広く奉仕活動を行っており、今回の一斉清掃もその一環として行われたものである。この日雨の中、クラブメンバーの他町役員も五〇人が参加し四班に分かれ手に手にごみ袋を持って、土佐山田町境から長瀬橋間二十ヶ町道沿いに三線三の側溝や道路わきに投げ捨てられた空き缶やみを丹念に拾って歩き、通行中のドライバーに「ごみの持ち帰りを呼びかけていた。

海と雲の出の日

キャンプファミリー森ワイルドファミリーキャンプ

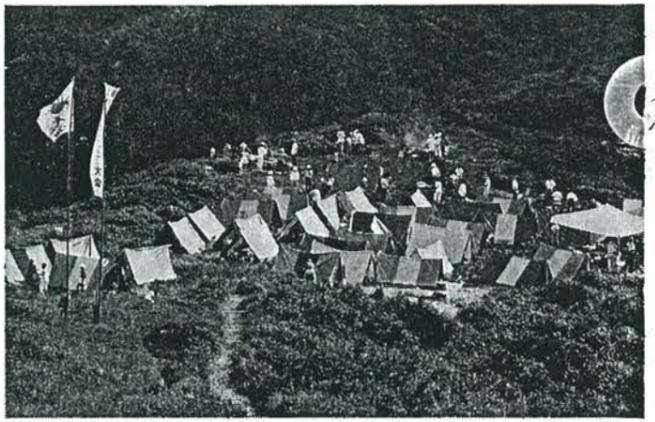
第二回ワイルドファミリーキャンプ大会が去る七月二十六、二十七の両日県内外各地から親子連れグループ三十二組、一〇八人が県立自然公園ワイルドファミリーキャンプ場に集い実施された。

このキャンプ大会は昨年合併三十周年記念行事として大豊町を県内外に広くPRし、「むらおし」に観光開港場に生かそうという試みで企画されたものであり、本年度二回目を迎えた。

ワイルドファミリーキャンプ実行委員会（会長町連合青年団長森一芳）では、新聞、ラジオ、テレビ等マスコミの協力を受けることに、六月二十八日小雨の中、高知市市営町中央公園北口においてキャンプ大会を行うためのPRに努めた結果、当日は高知市において鏡川まつりをはじめ県内でもイベントが多岐にわたる中、大豊町のキャンプ大会にも注目が集まった。

参加者の中には、昨年の経験者も多く、「いやー懐かしい、よってきたねえ、今年もよろしく」と握手を交わしながら再会を喜び合っていた。

キャンプ村開村式では三浦収入役や森一芳キャンプ



キャンプ村の全景

村長の歓迎の挨拶に続きスタッフの紹介、班分けが行われそれぞれの班に分かれてテントの設置にうつった。

今回のキャンプ大会の運営は連合青年団と町の職員が合同で行ったが、青年団では盆踊りの準備等を含め長期にわたる準備活動を行った。また八歌婦人会においても、実行委員会のメンバーとなり昔懐かしいヨウガの舞や踊りなど小豆や山菜弁当づくりなどに忙しく働いて、冷涼地野菜のトマトやゼンマイ、椎茸など特産物の売店を設け、大豊の宣伝に一役買っていた。

食事づくりについては昨年以上にセルフサービスを徹底し、各グループの自主的作業とし、子供も親達と一緒に炊事に加わりワイルド（荒けずり）なファミリーキャンプとなった。

夕陽せまる頃、青年団とボランティアが準備したキャンプファイアーにうつり、明々と燃える炎を囲み、ボランティアの長野孝君（高須）小林康夫氏（穴内）の指導により、楽しいゲーム

に感のたつたのも忘れて一時をすごした。

キャンプファイアーが終了すると銀粉をちりばめた澄みきった夜空、スターウォッチングにうつりアマチュア天文家や小津高等学校の川添晃先生等三人の先生方による星のロマン星座についての話や、土星、火星、木星などを準備された天体望遠鏡で代わる代わる眺めながら「アッ！星だ、帽子の輪が見える」などと歓声をあげ天体望遠鏡による夜空の散歩を楽しんだ。

翌朝は遙か東の山並の向うに赤々と昇る太陽に合掌し、山裾に白霧を敷きながらしたよつな雲海の美しさに感嘆し、澄みきった空気を胸一杯すいこんでいた。

朝食後はロッククライミングや追跡ハイキング、我々大会等盛り沢山のスケジュールを何なくこなした子供達は大豊の夏を満喫していた。

キャンプ村開村には東豊永郵便局が準備した風船にそれぞれ熱い思いを書いた大空高く飛ばし、スタッフとの楽しい思い出を胸に帰る。



夜空の散歩星座のロマンにうつり

外国人向け英語版 観光パンフレット贈呈 定福寺ユースホステルへ (財)大豊町観光開発協会から

外国人に楽しい旅をということで、(財)大豊町観光開発協会(秋山司理理事長)で以前から検討されていた外国人向けパンフレットが



作成され、去る六月十六日定福寺ユースホステル(約井龍宏ベアレント)に贈呈された。同ユースホステルには年間三百人近い外国人観光客が訪れるが、町内の観光地を紹介した外国人向けのパンフレットがなく、利用客から要望もあり、この機会に大豊町を外国にも知ってもらおうと作成したものである。

パンフレットは三ツ折りでポケットに入る大きさに、国宝薬師堂、定福寺をはじめ旧立川番所書院、日本一大杉など町内の名所が紹介されているほか、四国の交通の隘口や国鉄豊永駅からユースまでの道程をバスの、徒歩両方が分かりやすく説明されている。製作費は三千部で二十五万円。

この日豊永駅前に関係者が集まり贈呈式が行われ、秋山理事長は「折角大豊町まで足を運ばしてくれた外国の方に大豊町をゆっくり見て頂き楽しい旅にしてほしい」と挨拶され、約井ベアレントはパンフレットを手渡した。

約井ベアレントからは、先日より同ユースに宿泊している西ドイツの女子学生カタリナ・シュミットさんは、すばらしい大豊の環境と人々の温かい心に触れ感激している。因に帰ったら大豊のことを両親や友達にも話し、友と一緒に是非もう一度訪れたいと感想を語っていた。

作成され、去る六月十六日定福寺ユースホステル(約井龍宏ベアレント)に贈呈された。同ユースホステルには年間三百人近い外国人観光客が訪れるが、町内の観光地を紹介した外国人向けのパンフレットがなく、利用客から要望もあり、この機会に大豊町を外国にも知ってもらおうと作成したものである。



約井龍宏ベアレント(定福寺)秋山理事長よりパンフレットの贈呈



完成した展望台

日本一の大杉に展望台完成

かねてより計画されていた日本一の大杉にこのほど展望台が完成した。

この展望台は高知県自然公園施設整備事業で実施したもので事業費百五十万円、六月二十二月から三月末にかけて施工された。

建物は丸太「あづまや」面積は一五・二平方メートル、八坂神社の東山二百坪の所に設置された。

ここからの眺めは最高で穴内川沿いに展開する大杉校下が箱庭のように展望することができ



パンフレット

四〇〇余人が参加盛大に

『第六回社会福祉大会』開催される

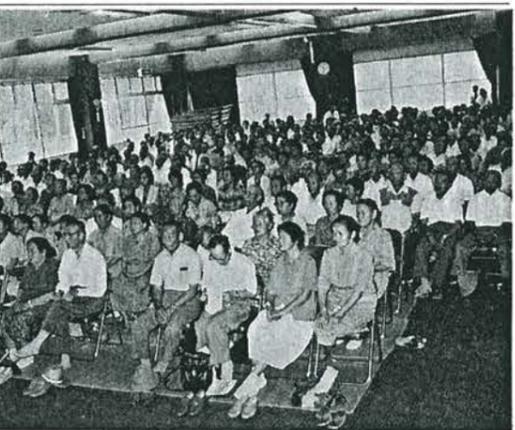
去る七月二十七日(日)農工センター文化ホールにおいて、町民各層から四〇〇余名が参集し盛大に開催されました。大会に先立ち模範老人の方々に對して町長表彰が行われ、続いて昭和六十年度高額寄付者に対する社会福祉協議会長感謝状が一人一人に手渡されました。

この後、日本社会事業大学教授大橋謙策先生の「現代青少年と福祉教育」について、過疎と高齢化の大豊町の現状を踏まえて講演がありました。午後からはボランティア活動協力校の大



第6回大豊町社会福祉大会

表彰状と感謝状を贈られた方々



熱心に講演に聞き入る人達

表彰者名簿

町長表彰

- 立川中和 永野武男
- 川口 秋山隆茂
- 南大王 岡本光重
- 上桃原 上村森衛

社会福祉協議会長感謝状

- 昭和60年度高額寄付者
- 立川仁尾ケ内 真鍋重義
- 高知市北金田 山本司郎

三世代交流

葛原の里にっとう

大杉小学校五年生の田植初体験

大豊町社会福祉協議会(小笠原茂氏)と町青少年育成町民会議(畑山善郎会長)は葛原地区において大杉小学校五年(竹崎益美校長)二十人の児童と大杉地区老人クラブ(宮内正章会長)ボランティアの青年による三世代の一日交流会が去る六月十九日に行われた。この交流会は青少年の健全育成と地域福祉の推進をテーマに開催されたものである。この日梅雨明けの絶好の晴天に恵まれ、約五十人が参加し、葛原公民館において開会行事のあと、地元のお年寄りから田植の方法やお米の出来までの栽培管理の苦労話を真剣に聞いたのち、運動服の袖をまくり、宮内正章氏(社協理事)所有水田(二ア)に移った。



古老の話に真剣に聞き入る子供達

田植に先立ち石原正恒氏(町社会教育委員長)より田植の神様である「おさきい様」の風習を聞き生徒代表が豊作を祈った。

このうち水田中央に繩をはり二組に分かれ、おじいちゃん、おばあちゃんに早苗の植付方について手ほどきを受け、慣れぬ手付で真剣に生まれて初めての田植に挑戦していた。



豊作を祈る生徒代表と石原氏

田植が一段落すると泥だらけになった顔の汗をふき



だんだん上手になってピッチもあがる



テレビ局のインタビュー 楽しかった? うん

ふき、テレビ局の取材に堂々と応じている様子はいかにも現代っ子という感じである。

田植が終わると子供たちはボランティアの青年らが準備した追跡ハイキングに挑むことになり葛原部落の氏神境内に通じる長い石段を四五人のグループに分れて一気に駆け登り境内周辺にセットされたポインティングを難なくこなすお腹をすかし美味しい昼食にうつった。

昼食後はお年寄りから田植にその昔用いた牛鍬や馬鍬などの現物を見ながら昔の農耕方法についての話や

葛原地区の昔の情景などに十才以上の独居老人にプレゼントをする約束し名残りを惜しみながら葛原公民館を後にした。

この日葛原の静かな山里にも子供たちの元気なしゃべり声が山々にこだまっていた一日であった。

大豊町社会福祉協議会役員

の改選について(お知らせ)

大豊町社会福祉協議会では役員が五月一日付で満了することから、去る四月二十八日評議会を開き、五月二日から二二年度の理事及び監事を選任した。五月六日評議会に於て新会長に小笠原茂氏(八郎)が、副会長に三谷和子氏(寺内)が、監事に平石徳太郎氏(大滝)と岡林良治氏(馬瀬)がそれぞれ再選された。事務局では秋山司事務局長が退職し後任として役場産業課より小笠原長猪氏が常任理事(事務局長)として出向し新体制で協議会が運営されることになった。

大豊町社会福祉協議会役員名簿

理事 (昭和六十一年五月六日現在)

職名	氏名	住所
会長	小笠原茂	八畝
副会長	三谷和子	寺内
理事	鎌倉登	高須
〃	宮内正男	葛原
〃	大利秋時	東土局
〃	坂本五郎	角茂谷
〃	寛義孝	筏木
住民課長	寛義孝	筏木
事務局長	小笠原長猪	中村大王
監事	平石徳太郎	大滝
〃	岡林良治	馬瀬

連合婦人会 地区別研修会終了

一泊研修は豊楽寺で

大豊町連合婦人会(上村寿美子会長)では恒例による夏の地区別研修会が去る六月十五日、西峰地区婦人会を皮切りに各地区に学習テーマを定め真剣な研修討議が行われた。

以下各地区別研修会の結果についてお知らせします。

西峰地区婦人会(氏原菊子会長)では去る六月十五日七〇余名が大型バス二台に分乗し伊野の簡易保険保養センターに集い研修を行った。

車中では「ボケ老人の看護について」ビデオ学習を行い途中紙の博物館を見学したのち三つのグループに分かれ数年來懸案となっていた「虚礼廃止について真剣な討議が行われた。

東豊水地区婦人会(川崎寿美子会長)では六月二十九日東豊水地区公民館において、六〇余名が出席し、研修テーマを「二十一世紀に向けて婦人会活動と仲間づくり」と題して、渡辺町長を頭目とかなうちにも真剣な話し合いが進められた。

午後には、西岡指導員の指導のもと楽しいレクリエーションで腹ごなしをしたのち本山保健所職員等で作った「おはあちゃん」は「笑った」という痴呆老人の看護についてビデオ学習をしたのち、森本保健婦さんによる「健康づくり」の



愉快で体にいいわよ 健康体操 (一泊研修)

話や、落合婦人会のユーモアたっぷりな寸劇に笑いこぼれ、和気あいあいのうちに時のたつのも忘れた一日であった。

会費一泊研修(町連合婦人会主催)健康づくり婦人会

昨午が町外研修であったことから今年も町内で行った。去る七月十二日から十三日の一泊二日の予定で寺内の豊楽寺で開催された。

研修会には町内各地から五十余名が梅雨末期特有の雷鳴、大雨の中を豊楽寺通夜室に集い合った。

研修テーマは「婦人会活動と町づくり」と題し、渡辺町長の講演に続き、県消費生活相談員大田愛さんによる「賢い消費者になるために」と題しての講演や、問題化されているSF商法・訪問販売等についてのビデオ学習を行ったのち、前中央保健所保健婦室長長基さんの指導により健康体操等に取り組み意欲的に第一日目の日程をこなした。

二日目(十三日)には六時起床、ラジオ体操の後、薬師堂において吉岡住職の説教で心を鎮め、初めて見る薬師如来像や釈迦如来像、阿弥陀如来像の量感に心をうたれた。研修テーマは、ビデオ学習「オラが村はオラの手で」のビデオを見たのち「町づくり婦人会活動について」ということで三つのグループに分かれ真剣に討議、発表と所定のプログラムをこなした。一泊研修を終った。

大田口地区婦人会(池添

玲子会長)一泊研修の余韻の残る七月二十日、高齢者コミュニティセンターにおいて午前中は「新年金制度について」南国社会保険事務所の高松俊彦課長の話を聞き、高齢化社会での私達の年金はどうなるのだろうかという質問も多く出され、五十四名が真剣な学習を行った。

午後にはビデオ学習のち青少年の健全育成について子育て真っ最中のお母さんや子育ても既に済んだ先輩方が一緒に三つのグループに分かれ昔の子育てと現代の子育てについて真剣な意見交換が行われた。

六内地区婦人会(吉村崇子会長)では「高齢化社会に対応する生き方の学習」と題し八月十日石川市中央公民館を招き立川番所書院で研修会を行った。研修会にはまず私達の先祖の歩んだ歴史を知ろうというところで、十四名がバスで町内文化財めぐりからはじめた。



落合婦人会によるユーモラスな寸劇

立川番所書院では、石川前館長の「高齢化社会に対応する生き方の学習」の講演の後、婦人会活動のあり方、人集め等のむづかしさについて熱心な話し合いが続き、小人数ながら素晴らしい研修会となった。

川口地区婦人会(鎌倉喜美恵会長)は八月二十五日町内の文化財を知ろうというところで二十四名が町社会



東豊水地区婦人会研修



大田口地区婦人会研修、私達の年金はどうなるの

研修テーマは、「新しい年金制度について」ということで南国社会保険事務所の島村俊彦課長の話を聞き、それぞれの老後の生活設計について思いをめぐらしていた。

帰りは日曜日市を各人思い思いに散策し家族への土産を買い込み家路へと急いだ。

帰りのバスの中では、堤会長のお話のもと豊水地区婦人会の今後の運営についてというところで、出席者全員に意見が求められた。

豊水地区では近年特に地区婦人会に対する参加、協力体制が強化しこのままでは地区婦人会の存続が危ぶまれるが、どうすべきか。役員選任についても東

教育委員長で町文化財等調査委員会委員長でもある石原正恒氏(中村大王)もある講師として招きバスで豊楽寺の薬師堂、定福寺、民族資料館、笹ヶ峰峠、立川番所書院、大杉へと意欲的に日程を消化した。

定福寺では、石原先生から「大豊町の文化財」と題して講演を頂き県下の町村でも有数の文化財を保有するわが町であることを見出し、国宝・重要文化財等、初めてのめぐりに感激した一日であった。

豊水地区婦人会(堤玲子会長)は本年度計画された地区別研修会の最後を受け去る九月七日、高知市の円行寺ファミリア温泉、湯の川に二十四名が集いをもつた。

夏の風物詩

夏祭り各地区で大賑わい

ふる里大豊の風物詩夏祭り、八月三日東豊水地区を皮切りに町内各地区で盛大に開催されました。

大杉地区では八月九日大杉地区公民館主催で、大杉農村広場に若男女約五〇〇人が夕やみと共に集い、地元寄付金による打ち上げ花火(10発)や、子供相撲大会を楽しんだのち、青年男女や婦人会の方々、子供達による踊り子隊が会場一杯に所せまると踊り続け活気のある一夜をすごしました。

続いて翌十日には、お薬師様の祭りに合わせて、恒例となった「お薬師祭り納涼盆踊り」、花火、カラオケ大会が大田口地区公民館主催で大豊中学校グラウンドで盛大に行われました。

当日は、お昼休みで帰省している人も多く町内外から一〇〇〇人余りが集い、夜の金魚すくいに興じる親子、くじ引きの景品を片手にしゃく子供、焼鳥を肴に一寸と一杯の中年男性、祭りならではの絵になる風景が夜の灯りに浮かんでいました。

午後六時半打ち上げられた煙火を合図に祭りの開花、生バンドによるカラオケ大会や連日続き、いよいよ踊りも本番、各地区の青年団の踊り子達が繰り出



大賑わいの大田口地区盆踊り会場(大豊中グラウンド)



金魚すくいに興じる子供達

九時会場の照明が一斉に消されいよいよ祭りの最大の花火大会(20発)が始まり、夜空に大輪の花が咲き乱れ、大人も子供も本格的な花火を堪能した。

この花火は地元の方々の寄付金や高知市内の郷土出身者の会、大豊会、大豊クラブの方々の浄財により毎年行われているものでありお世話役の方々の御苦労がしのばれる。

カラオケの決勝では、大田口の坂口敏さんが一位に入賞、賞金はそのまま祭りの事務局に寄付、くぼられた福引き団員の抽選もすでに祭りの夜はふけていった。

その後、十四日には西峰地区が西峰中グラウンドで、十五日は六内地区、十六日には東部地区、天坪地区がそれぞれ趣向を凝らした次々と祭りが盛大に開催されました。

大豊町スポーツ 大会始まる

大杉中体育館で開会式

いよいよスポーツの秋、
去る八月二十二日大杉中
学校体育館に於て、第十四
回大豊町スポーツ大会の開
会式が盛大に行われまし
た。

式には、体育会各部の選
手や関係者多数が参加さ
れ、まず町西岡助役から町
民総スポーツの推進につい
ての協力と激励の言葉に続
き、野島体育会長より大会
期間中事故のないよう心身
の鍛錬に努めてほしいと挨
拶があり北村町議会議長か
ら励ましのお言葉を頂いた
のち、選手を代表して剣道



スポーツ大会開会式 (円内は野島会長)



元気に選手宣誓をする剣道部の三谷るみさん

大豊町PTA連合会研修 ソフト・ボール大会開催



女子バレーボールでスポーツ大会開幕

町PTA連合会(常務
会長)では去る八月十七日
大杉農村広場において、ソ
フトボール大会を開催した。
このソフトボール大会は
連合会が毎年行っている町
外研修視察を今年にスポー
ツ大会によって多くの会員
に出席してもらいお互いの
親睦を深め、連携を密にし
教育の振興を図ることを目
的として行われた。

この日午前九時、町内各
地の小中学校から八チーム
約百十名が参加し、新しく
贈られた教育長杯の争奪に
熱戦が展開された。

参加チーム(PTA)
西峰小中学校、東豊水小
学校、豊永小学校、大田口
小学校、大豊中学校、穴内
小中学校、大杉小学校、大
杉中学校

1位 大杉小学校
2位 西峰小中学校
3位 穴内小中学校

六十一年度 連合青年団総会

団長に森 一芳君就任

大豊町連合青年団では、去る五月二十七日、豊工セ
ンターにおいて定期総会を開催した。
当日は各地区の青年団員二十五名が出席。来賓に
青年団OBで町議会議長教育民生常任委員長の今井安博
氏、中央公民館長を招き、熱心な討議が交わされ新役
員として団長に森一芳君(怒田)を満場一致で選任
午後十時過ぎ閉会しました。

主な決定事項は次のとおりです。
重点目標(1)リーダー養成(2)地域における奉仕活動
(3)研修への積極的参加(4)団員の増加、強化につとめる。
役員(団長森一芳(怒田) 副団長坂本論(栗生) 副
団長西山利恵(杉) 事務局次長西岡里志(久寿軒) 事務
局長西村幸(八咫) 事務局次長小笠原后香(落白)
監事上地仁(安野) 監事佐々木幸一(中屋) 監事小
笠原一夫(中村大王)



団長あいさつ
森一芳君
去る連合青年団総会にお
いて、はからずも私が団長
に選任されて数ヶ月が過ぎ



優勝した大杉小PTA

部の三谷るみさんが元気に
選手宣誓を行ないスポーツ
大会が開会されました。
この日スポーツ大会は
「バレーボール」を皮切りに
来賓三月まで各部にお
いて実施されます。町民の
皆様方も是非スポーツ大会

ました。この間町内の皆様
方の御協力により、各地区
の益踊り等も無事終了しま
したことを厚く御礼申し上
げます。
さて、大豊町のような過
疎地域における青年団はど
うあるべきでしょうか。そ
れは若者が青年団というも
のを通じて結束し、村おこ
しなどに積極的に参加し
て、地域の活性化のために
力を入れ、明るく活力ある
町をつくるために努力する
ことが必要ではないでしょ
うか。

今、青年団では団員を募
集しています。若者はぜひ
青年団に入ってください。
私達といっしょに勉強し、
活動をして、時にはお酒も
飲みましょう。
最後に残された任期の数
ヶ月間を力いっぱい頑張ら
ますので、町民各位の御支
援、御協力を心よりお願い
いたします。簡単ですがあ
いさついたします。

今年四月一日にスタート
した新しい国民年金では、
厚生年金と共済組合に加入
している人に扶養されている
配偶者、つまり専業主婦
の人は、個々に保険料を納
めなくてよいという特別の
措置がとられています。

消費生活相談員のお知らせ

お気軽にご利用下さい



大和 愛さん

複雑な情報化時代にあつて
すべての知識を身につける
ことはなかなか困難であり
ます。
そこで県では賢い消費生
活を推進することや、消費
者の利益の擁護と消費生活
の安定向上を図るため消費
生活センターを設けて消費
生活に関する悩みごとや相
談を受けておりますが、さ
らに遠隔地に住む方々の利
便を図るため県下に十八名
の消費生活相談員を配置し
ております。

国民年金について サラリーマンの奥さん 届け出がまだの人はお早目に

被保険者となりました。
このように人を第三号被
保険者と呼びますが、第三
号被保険者として扱われる
ためには、届け出が必要と
なります。
新制度スタート前より国
民年金に任意加入していた
奥さんについては、三月末
までに「国民年金任意加入
被保険者現届届書」の提出
をお願いします。また、
いままで国民年金に任意加
入していない奥さんにつ
いては、四月一日から加
入届の提出をお願いします。
また、この届け出をし
たからといって、ご主人の
保険料が高くなることはあ
りませんし、届けを出さな
いと、将来年金を受け取
れなくなる場合があります。
未届けの人は至急役場で
必要な手続きをすませて下
さい。

家庭教育学級のお知らせ

お知らせ

親として我が子には、自
分以上のしあわせを願う気
持を誰もがもっています。
この学級(学習会)は、
時代の要請に答え、レクリ
エーションや地域の世代間
交流の中で「子どもの心を
育てる」ための学習、又、
問題をもつ親子の早期発見
と対応のために、教育相談

日時 五月から年六回
会場 豊永小学校及び
農工センター
内容 レク、講義、討議
演習、相談等
くわしくは大豊町教育委
員会(72・0450)内線
533へ

大豊町子どもキャンプ大会

手結海水浴場に集う

楽しく遊び、学ぼう

活動し、自分を変えよう



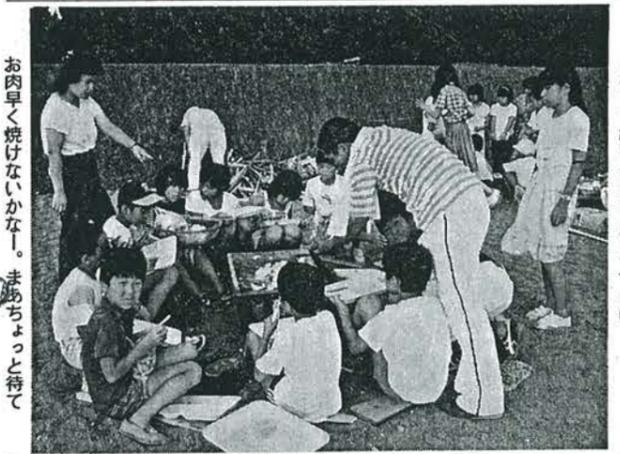
夜須町サイクリングセンターで記念写真

恒例となった、大豊町子どもキャンプ大会が、去る八月十三日、十四日、夜須町手結海水浴場で行われた。当日は晴天に恵まれ町内各地から四年生以上の小学生三十四人が参加し、ボランティアの浜田豊高さん(日浦) 小林康夫さん(穴内) 長野孝さん(高須) 等の指導のもと六班に分かれ各別にテント張りを行った。夕飯をすまし、待ちかねていた海水浴を楽しんだ。

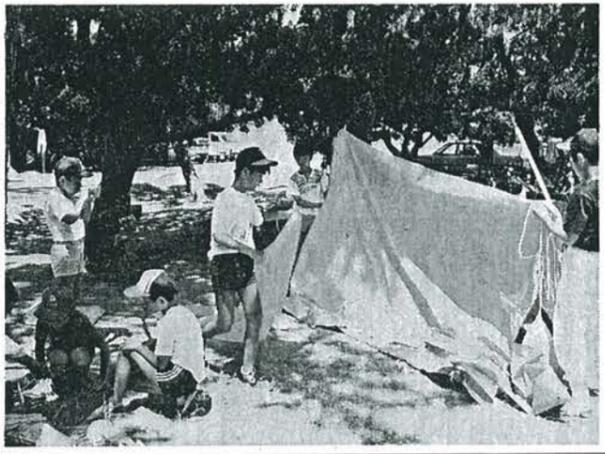
参加者の中には、昨年来の者もあり、リーダーの役割を担った。テント張りや飯炊きなど夕食の準備も手際よく行っていた。夕飯をすまし、キャンプ大会であった。

恒例となった、大豊町子どもキャンプ大会が、去る八月十三日、十四日、夜須町手結海水浴場で行われた。当日は晴天に恵まれ町内各地から四年生以上の小学生三十四人が参加し、ボランティアの浜田豊高さん(日浦) 小林康夫さん(穴内) 長野孝さん(高須) 等の指導のもと六班に分かれ各別にテント張りを行った。夕飯をすまし、待ちかねていた海水浴を楽しんだ。

参加者の中には、昨年来の者もあり、リーダーの役割を担った。テント張りや飯炊きなど夕食の準備も手際よく行っていた。夕飯をすまし、キャンプ大会であった。



お肉早く焼けないかな。まあちょっと待て



テント張りならまかせて下さい



楽しいゲームあんなの負けよ。ジャンケンポン

さあ！あなたも献血の輪の中に

今までの200ml献血に新しく400mlと成分献血が加わりました

献血の基準	400ml	200ml
年齢	満18歳～満64歳	満16歳～満64歳
体重	男女共50kg以上	男45kg・女40kgを超える方
献血間隔	男子3カ月 女子4カ月	男女共最低1カ月

移動採血車でも採血しています。

献血の基準	血漿の成分献血の基準	血小板の成分献血の基準
1回献血量	血漿量で400ml以内	
年齢	満18歳～満64歳	満18歳～満54歳
体重	男女共50kg以上	
献血間隔	男女共2週間	男女共1週間
年間の献血回数	24回以内	12回以内

血液センターでのみ行っています。

<献血で健康管理を>

献血にご協力いただいた方全員に肝臓、腎機能等の検査を行いその結果をお知らせしています。

献血のご相談は高知県赤十字血液センター(TEL0888-33-6666)または県庁薬務課、保健所、市町村役場まで

『大豊町史』

(近代編)発刊

予定についてお知らせ

昭和五十七年十月から資 近代編につきましては十一料取集を行ってきた、町史 名の専門委員により調整



炎の神(鈴木先生)からトーチに点火(各班長誓いの言葉)



あんまり沖へ出たらあぶないぞ

『大豊町史』

第十五号発刊

討され、その後昭和五十九年四月から執筆段階に入り四名の監修委員(都築健康委員長)により鋭意監修が進められております。来春には発刊の予定です。御購読下さい。

『大豊町史』

編集後記

暑い、暑いといっているうちに急に涼しくなり、朝夕は厚手の上着が欲しい季節となりました。長い間開店休業で五ヶ月

やまびこ

句会 作品抄

- 舞果ての屋根に秋月細りき 吉川 邦子
- 山道に栗拾いつつ暮参り 長田 愼生
- わが黄泉の路にも咲いて愛 鯨背はたはた秋桜咲いてい 猪野 博文
- 珠沙華 長野 稔恵
- 銀河よりこぼれて点り青灯 白萩に風が生まれる古戦場 猪野 博文
- 台 ユンボの尾村の端に据え愛 灯台の高さにかん鳥熟れ 三谷 幸正
- 珠沙華 岡林 由佳
- 灯台は母の微笑み秋さくら 徳弘 妙子
- 灯台の上は月赤まんま 杉本 賀美
- 木の下に集まる緑者秋彼岸 秋山 成子
- 鎌倉きみえ
- 森 武司

十月は体育の日、「赤い羽根の共同募金」など全国的にもいろいろな行事も多くなるといわれています。町民の方々のご教示、ご賛成を心からお願いたします。

十月は体育の日、「赤い羽根の共同募金」など全国的にもいろいろな行事も多くなるといわれています。町民の方々のご教示、ご賛成を心からお願いたします。

☆ 絵画部員募集中 ☆

大豊町文化推進協議会

〇活動
毎週木曜日 午後7時30分から9時
於 大豊町農工センター
油絵、版画、デッサン、批評など
その他 写生会、発表など
〇会費 年間 4,000円ぐらい
〇指導者 吉本 信 先生

初心者大歓迎！ 最初から教えます。入会希望者は、10月の木曜日の時間内に、お気軽にお越し下さい。

